

文教常任委員会 行政視察報告書

文教常任委員会では、吹田市と郡山市を行政視察しました。
概要は以下のとおりです。

(実施期間) 令和7年5月13日～15日

(視察都市) 吹田市、郡山市

(視察内容) 吹田市

- ・新しい教育支援教室と不登校児童・生徒支援について
- 郡山市
- ・地域学校協働活動推進事業について

[吹田市]

吹田市では、新しい教育支援教室と不登校児童・生徒支援の取組について説明を受けた。

全国的に報道でも取り上げられているように、吹田市でも不登校については喫緊の課題となっており、不登校数の推移も増加の一途をたどっている。その対策として、ICTを活用した子供たちの心身の健康観察アプリの導入、相談窓口の充実、多様な居場所づくりなどの不登校支援対策の充実に取り組んでいる。

今回視察した吹田市教育支援センターでは、教育支援教室「あるくの森」を活用した支援を行っており、家族以外と関わりが持てていない子供たちのために、学習活動だけでなく様々な活動を行っている。また、昨年度からメタバースを利用した「森のc a m p u s」を開室し、毎週木曜日12時50分から15時の間に2コマの活動をする予定となっている。今後は、子供たちの活動の様子を見て、日数や利用の対象範囲を増やしたりすることも検討している。

委員からは、支援教室に通う子を持つ保護者同士の関わりはあるのか、吹田市の教職員の欠員状況はどうか等の質問が出された。



(吹田市での視察風景)

〔郡山市〕

郡山市では、地域学校協働活動推進事業について説明を受けた。

国の第四期教育振興基本計画で示された、今後の教育政策に関する基本的な方針の1つである、地域や家庭とともに学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進を達成するために行う活動の1つとして地域学校協働活動を推進していることにある。

これを受け、郡山市では、大きく3つの事業を企画運営している。

まず、地域未来塾について、専門的な知識や技能を有する地域住民、大学生等の協力を得ながら、放課後や土曜日、長期休業中に開催し、学校等の公共施設で行う。希望する全ての児童生徒への学習支援や、体験活動を行うことで、多くの子供たちに学ぶ喜びや学び合いの楽しさを提供して、学習意欲の向上を図る。

地域力を生かした働き方改革事業では、学校教職員が行う業務を地域の専門知識や技術を持つ外部講師であったり、学内の地域住民が代わりとなって実施をすることで、教職員の業務負担を減らし、働き方改革につなげるといった目標がある。

地域コーディネーターの設置については、上記2つの事業を円滑に実施運営するために、学校と地域の両面に精通した方を、地域コーディネーターとして委嘱して、事業の企画や運営をサポートする事業である。

委員からは、地域人材の発掘はどのように行っているのか、学校からの要望以外で地域の方から上がった声で、活動した事業などがあれば教えていただきたい等の質問が出された。



(郡山市での視察風景)